

寺本 明志 展 冒険と選択

2022年11月26日(土) - 12月25日(日)

清須市はるひ美術館

アーティストシリーズは、公募展「清須市はるひ絵画トリエンナーレ」の受賞者を1名ずつ個展形式で取り上げる展覧会です。99回目となる本展では、清須市第10回はるひ絵画トリエンナーレで審査員賞[吉澤美香]を受賞した寺本明志をご紹介します。

寺本は「Patio (中庭)」を、全てのものごとが等価に存在する場所であると捉え、近年の制作の主要なモチーフとしています。寺本の作品に見られる、人物、動物、植物、建物、小物や家具など、さまざまなものが混在する風景からは、一見シュールな印象を受けるかもしれません。しかし、先に描いたものを手がかりに、次に描くものを考えながら進めていくという独特な制作工程によって、一つひとつの要素が配置され緩やかに関連し合った画中空間をつくり出しています。また、動きのある描き方から生まれる筆致の集積は、画面全体に大きな流れを浮かび上がらせます。具体的なものを連想しながら描くことと、描くことで絵筆の動きを画面に残すこと。寺本が「Patio」と言う中立的な場所とは、この双方が交わり共存する状態に表れているのではないのでしょうか。

本展では展示室内を冒険のフィールドに見立て、公募展受賞作から新作を中心とした油彩作品とドローイングを展示します。「冒険と選択」という言葉の示すところは、描くことで新たなイメージを探り発見していく寺本の制作にまつわる体験とその絵画に集約されていると言えるでしょう。

寺本 明志 / TERAMOTO Akashi

1992年 神奈川県生まれ

2017年 多摩美術大学大学院 博士前期課程(修士) 絵画専攻油画研究領域 修了

[主な発表歴]

2022年 個展「Patio」Bambinart Gallery (東京)

グループ展「In search of others」KOTARO NUKAGA (東京)

2人展「隣り合わせ」KATSUYA SUSUKI GALLERY (東京)

2021年 2人展「犬も歩けば棒にあたる」Art space Kaikas' (神奈川県)

2016年・2017年 「アタミアートウィーク」熱海市街(静岡)

[受賞歴]

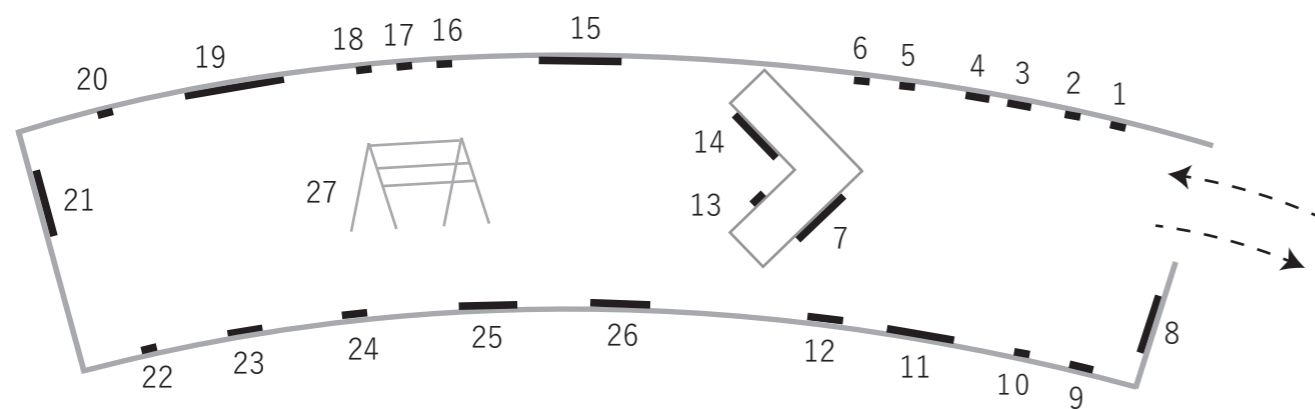
2021年 シェル美術賞 2021 入選

第10回清須市はるひ絵画トリエンナーレ 審査員賞

2020年 FACE2020 入選

2015年 福沢一郎賞 受賞

現在は相模原市のスタジオ Art space Kaikas' を拠点に、展示・制作を行う。



- | | | |
|---|--|---|
| 1. Patio－旅立つ人－ 油彩、キャンバス 22.7×15.8cm 2021年 | 2. Patio－覗く人－ 油彩、キャンバス 49.5×40.5cm 2021年 | 3. Patio－草原の風景－ 油彩、キャンバス 91×65.2cm 2022年 |
| 4. Patio－洞窟の風景－ 油彩、キャンバス 91×65.2cm 2022年 | 5. Patio－冒険に出る人－ 油彩、キャンバス 27.3×22cm 2022年 | 6. Patio－服を着る人－ 油彩、キャンバス 40.5×31.7cm 2021年 |
| 7. Patio－地図を描く人－ 油彩、キャンバス 100×100cm 2022年 | 8. Patio －洞窟のある風景（兆し）－ 油彩、キャンバス 144.5×112cm 2022年 | 9. Patio－雨が止むのを待つ人－ 油彩、キャンバス 65.2×53cm 2022年 |
| 10. Patio－暖をとる人－ 油彩、キャンバス 45×40.3cm 2020年 | 11. Patio－鍋を混ぜる人－ 油彩、キャンバス 194×162cm 2021年 | 12. Patio－竜巻－ 油彩、キャンバス 65.2×80.3cm 2021年 ※宮川遥弥との共作 |
| 13. Patio－テントがある広場－ 油彩、キャンバス 31.7×41cm 2022年 | 14. Patio －洞窟のある風景（道中）－ 油彩、キャンバス 144.5×112cm 2022年 | 15. Patio－踊る人－ 油彩、キャンバス 162×130.3cm 2020年 |
| 16. Patio －石を退ける人（日の出）－ 油彩、キャンバス 53×45.5cm 2022年 | 17. Patio －石を退ける人（白日）－ 油彩、キャンバス 53×45.5cm 2022年 | 18. Patio －石を退ける人（深夜）－ 油彩、キャンバス 53×45.5cm 2022年 |
| 19. Patio－写真を撮られる人－ 油彩、キャンバス 162×227.3cm 2022年 | 20. Patio－星のある風景－ 油彩、キャンバス 80.3×53cm 2022年 | 21. Patio－チェスをする人－ 油彩、キャンバス 194×162cm 2022年 |
| 22. Patio－光のある風景－ 油彩、キャンバス 45.5×38cm 2022年 | 23. Patio－隣り合わせ－ 油彩、キャンバス 80.3×116.7cm 2022年 | 24. Patio－夜－ 油彩、キャンバス 41×31.5cm 2020年 |
| 25. Patio－写真を示す人－ 油彩、キャンバス 53×80.3cm 2022年 | 26. Patio －洞窟のある風景（始まり）－ 油彩、キャンバス 144.5×112cm 2022年 | 27. ドローイング 油彩、水彩、オイルパステル、 色鉛筆、インク、画用紙など サイズ可変 2020-2022年 |

冒険と選択

子供の頃の夢は、探検家だった。

目の前に一歩進むたびに、何かが起きる、そんなことを夢見ていた。

どんな動物がいて、これからどんな冒険が待っているのか、自然と進む先を想像し、選び、
過ごしていた。

Patio（中庭）を屋内と屋外の間にある場所として描いている。ものや動物、何か行動を
する人が統一性もなく、場に存在する。

その状態は Patio の屋外／屋内における、中立的な場所の性質により、ただそこに存在
することに特別な違和感がない。屋外または、屋内であるべき姿を強要しないのだ。

唯一、個々の存在をつなぐものは、Patio で起きる現象である。

光の反射や影、天候や風の強弱、水の流れや土地の状態。

散々と存在していたものが、環境による調和、または想定外の事象により紐付けられ、

全て等価に、ただそれらの存在のあるがままを描くことができる。

寺本 明志